# けんせつ

宇都

宫

vol. 308

【題字】 宇都宮市長 佐藤栄一様



『今昔 宇都宮城』 宇都宮土建工業㈱ 荒井 学様 写真提供



#### 平成29年 新年挨拶

一般社団法人 宇都宮建設業協会 会 長 増 渕 薫

あけましておめでとうございます。平成29年の新しい年を迎え、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、世界ではイギリスのEU離脱をはじめ、次期アメリカ大統領に大方の予想を覆して共和党のトランプ氏が勝利し、韓国では大統領をめぐる前代未聞の政治スキャンダルの発覚など、今後の日本の政治、経済、安全保障等に大きく影響しかねない出来事が起きた波乱の年でありました。

国内では、18歳選挙権が初適用された7月の参議院議員選挙をはじめ、選挙の多い年でありましたが、参議院選では、安倍政権の高い支持率を背景に、改選議員の過半数を大きく超え政府与党が圧勝し、東京都知事選にあっては擦った揉んだの末に、知名度の高い新知事が誕生したところであります。本県の知事・宇都宮市長選においても、共に4選を目指す現職候補が見事当選を果たしました。これも政治手腕はもとより安定性や継続性を求めた民意の表れの結果と思うところであります。

また、建設業界に少なからず影響する環太平洋 経済連携協定(TPP)をはじめ、安保法案、I R推進法案、年金法案などの重要法案が国会で可 決・承認されました。TPPに限って言えばアメ リカのトランプ次期大統領が協定からの離脱を表 明しており、アメリカの完全離脱となれば国論を 二分した、あの「TPP大論争」が空論化してしまうなど、TPP協定の行方そのものが怪しくなっております。

一方、建設業界においては、公共投資の抑制や 民間投資の低迷に伴う受注量減少や過度な価格競 争、加えて人手不足や資機材の高騰等と相俟っ て、厳しい企業経営を強いられた一年でもありま した。

建設業は、地域の基幹産業として社会資本整備の一翼を担い、併せて雇用の確保や地域経済に大きく寄与し、また、自然災害の多発する中にあって、災害時の初期活動をはじめ道路・河川等の美化活動等のボランティア活動に積極的に取り組むなど、地域にとってなくてはならない衰退の許されない産業であります。

今後、日本の景気は、アメリカに新大統領が誕生するなど、政治的にも経済的にも先行き不透明であり、建設業界においても、さらに厳しい状況が続くと予測せざるを得ないところでありますが、建設業として不可分な技術力の研鑽や優秀な人材の確保育成等、持続的な経営を行うための企業努力は怠ってはならないと強く感じているところでありますので、会員の皆様の一層のご支援・

ご協力をお願い申し上 げ、新春のご挨拶とい たします。



#### 新年挨拶 平成29年



栃木県知事 福田 富一

皆様、あけましておめでとうございます。

昨年は、県政の基本指針である栃木県重点戦略「とちぎ元気発信プラン」をスタートさせ、栃木県の将来像である「人も地域も真に輝く 魅力あふれる元気な"とちぎ"」の実現に向け、プランに掲げた各種プロジェクトを推進するとともに、喫緊の課題である人口減少問 題の克服と地域の活力を維持するため、本県版まち・ひと・しごと創生総合戦略「とちぎ創

題の克服と地域の活力を維持するため、平県凧まり・ひて・しこと則生総言戦略」とつさ即生15(いちご)戦略」の取組を本格的に展開した年でありました。引き続き、「元気発信プラン」及び「15(いちご)戦略」の着実な推進はもとより、教育や子ども・子育ての支援、若者や女性の活躍への支援など、自らの能力を発揮し、笑顔になれる「ひとが輝く」とちぎづくりを進めるとともに、栃木県の強みを生かした多様な産業の振興と安定した雇用の創出により、「成長力アップ」を図って参ります。また、医療、介護、福祉の充実など、生涯にわたり健康で安心して暮らせる「健康・安心」な社会の実現に関いなれたしました。性紙・連絡対策を理論保保会など。「強く」なわか」が見上づくりを推進 取り組むとともに、防災・減災対策や環境保全など、「強くしなやか」な県土づくりを推進

して参ります。さらに、スポーツ・文化の振興や行財政基盤の強化により、とちぎの「未来への礎を築く」ことができるよう、全力で取り組んで参ります。 知事4期目の新たな年を迎えるに当たり、私は、"allとちぎ"の先頭に立って、栃木県の多くの「本物」に磨きをかけ、あらゆる研歴し、で選ばれるとちぎ」の実現を目指し、全身全霊

を傾けて参りますので、より一層の御理解と御支援をお願いいたします。 年の始めに当たり、私の所信を申し上げますとともに、皆様にとって素晴らしい年となり ますことをお祈り申し上げまして、新年のごあいさつといたします。



宇都宮市長 佐藤 栄一

本年は、市制120周年を迎えた本市が、次の100年先の未来まで繁栄する都市として持続的 に発展するために、新たな一歩を歩み始める重要な年であります。

まず、安心して子育てできる環境づくりや、将来の本市を担う人材を育成するための教育 環境の充実、健康寿命の延伸、貴重な地域資源を有する大谷地域を中心とした観光交流の促 進、さらには、東京圏からの流入人口の増加などに取り組んでまいります。

また、本市が目指すネットワーク型コンパクトシティの構築に向けまして、全国で初めて 全線新設により整備いたしますLRTのJR駅東側の工事着工に向けた取り組みや、バス路 線や地域内交通の充実など、総合的な公共交通ネットワークの構築に取り組み、環境にやさ しく、誰もが安全で快適に移動でき、外出によって健康が増進され、人や企業などの活動や 交流が活性化されるなど、日本のモデルとなる「交通未来都市うつのみや」の実現を目指 し、多くの皆様が「うつのみやに住みたい、住み続けたい」と思えるような選ばれるまちづ くりを推進してまいります。



上三川町長 星野 光利

皆様、新年明けましておめでとうございます。

平成29年度の希望に満ちた新春を健やかに迎えられましたことを、心からお慶び申し上げ ます。

日頃より、宇都宮建設業協会の皆様には、地域建設業の育成は勿論、本町の発展と町政運 営にあたりまして、格別のご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

現在、地方では、人口の減少や地域経済の低迷などの課題に直面しており、こうした課題は対し、地方自らが地域活性化を考え、自らが行動する「地方創生」の取組を推進しております。 本町におきましても、「第7次総合計画」2年目の年であり、町の将来像「共に創る

代に輝く 安心・活力のまち 上三川」の実現に向け、各般にわたり施策・事業を展開しているところでございます。 本年の主な事業としまして、安心・安全の充実におきましては、「防犯灯の一斉LED化と町による集中管理」を行います。教育環境の充実におきましては、子供たちが安心して学べ る場の整備として、「小・中学校へのエアコンの整備」や「小学校への防犯カメラの設置」 を行います。

また、産業振興の充実におきましては、工業環境の活性化に向け、「新産業団地の開発」 を推進します。

本年も、一歩先の視点に立った、より良いサービスの提供ができるよう、職員一同全力で

取り組んで参ります。 結びに、本年が皆様にとって、素晴らしい年になりますことをお祈り申し上げまして、新 年のご挨拶といたします。

# REPORT 参員会 活動報告

#### 総務委員会 建設業の更なる発展のために!

今年度、総務委員会では、広報誌「けんせつ宇都宮」の編集・発行、高校生インターンシップの協会員各社への受入れ調整、親睦会の企画・立案等を中心に活動してまいりました。

「けんせつ宇都宮」は年3回(1月・6月・11月)発行し、当協会の各種活動報告や集中豪雨などの災害発生時の緊急対応、新社長紹介、年間行事予定等を掲載し、会員及び行政各機関に向けて発信しました。

高校生インターンシップでは、宇都宮工業高校や宇都宮白楊高校など 4 校 7 学科より60名の参加者があり、10月から11月にかけて33社の会員企業が受入れをしました。

親睦の分野では、旅行やスポーツ等を企画実行し、会員相互の親睦を図りました。

今後も地域に貢献する宇建協の活動を発信してまいります。

(手塚)

#### 建設委員会 安心して暮らせる地域のために!

建設委員会の活動としましては、河川清掃活動のほか、宇都宮市総合防災訓練参加などの活動等を行ってきました。

【3月・5月・9月】愛リバーとちぎ河川清掃活動

【6月・11月】栃木県河内地域鳥インフルエンザ及び口蹄疫対策連絡会議への出席

【7月】川の日「田川クリーンアップ大作戦 |

【8月】 字都宮市総合防災訓練への参加

【9月】台風接近に伴う災害対策本部待機業務

【10月】宇都宮市建設産業団体連絡協議会実務者協議への参加

【11月】土木の日「クリーンアップキャンペーン」

【12月】 道路河川等管理情報システムの操作研修会(建設委員会)

【今後の予定】道路河川等管理情報システムを利用して「災害時対応訓練」の実施を予定しています。

当委員会では、地域社会の安心・安全を守る!という宇都宮建設業協会の役割を果たすべく、様々な災害発生に対し緊急対応が出来るような活動を実施していきます。

(入江)

# 安全委員会 安全意識の更なる向上!

安全委員会の活動としましては、毎月1回の安全パトロールの実施、建災防栃木県支部並びに宇都宮分会主催 行事の設営等の協力、暴力団対策と交通安全に関する講習会の開催等があります。

【4月・5月・6月・9月・12月・3月】非公開委員会パトロール

【8月・11月・1月】非公開パトロール

【7月・2月】公開パトロール

【10月】合同公開パトロール

【7月】安全管理者講習会の開催

【9月】建災防栃木県支部安全大会の設営協力

【10月】建災防栃木県支部宇都宮分会安全対策セミナーの開催

【12月】暴力団対策及び交通安全に関する講習会の開催

今後も労働災害の撲滅を目指して、会員各社の安全対策の推進を図ってまいります。

(田仲)

#### 協組促進委員会協会運営の充実を図るために!

前期は正副会長で組織されていた本委員会ですが、今期からは今後の協会運営の根幹を確立するべく、メンバーを増員して組織強化されました。既存の一般社団法人宇都宮建設業協会と宇都宮建設事業協同組合の双方の組織特性を活かして、業界と地域に貢献しています。

【主な活動】①栃木県・宇都宮市からの業務委託・共同受注の営業強化

②新たな分野の積極的な調査研究

③会員拡大

(上野)

#### REPORT | 総務委員会|

#### インターンシップ ~未来の建設技術者育成のために!~

一般社団法人宇都宮建設業協会は、栃木県教育委員会が産業教育の一環として実施しているインターンシップ(就業体験)に協力しました。インターンシップは、高校生が教室を離れ企業等での就業体験をすることで、働くことを肌で感じ仕事に関する意欲・関心・理解を深め、将来に役立てることを目的にしています。

本年度は、栃木県内4校7学科

宇都宮工業高校環境土木科(6名)

宇都宮工業高校建築デザイン科(20名)

今市工業高校建設工学科(土木4名 建築4名)

小山北桜高校造園土木科(5名)

小山北桜高校建築システム科(3名)

宇都宮白楊高校農業工学科(18名)

から計60名の高校生が本会会員企業33社で平成28年 10月17日(用)~21日(金)及び10月24日(用)~28日(金)までの 各々5日間、就業体験を実施しました。

受入企業にとっても社内の活性化、若手社員のモ





チベーションアップ、リスクマネジメントの活用につながりました。担当者へのアンケートの中では、「高校生のインターンシップを受け入れたことにより、貴社にとって、どのようなメリットがありましたか。」との問いに『現場に活気が出た』『刺激を受けた若手社員のスキルアップにもつながった。』とありました。

建設現場での就業体験を通して、学校では学べない実践的技術・技能、業界人に触れたことにより、 建設業の魅力を知ることで将来建設業界に携わって くれることを期待しています。

(石黒)

#### 

2016.12.8

# 愛リバーとちぎ

#### 第5回河川清掃活動

#### 十木の日・クリーンアップキャンペーン

宇都宮建設業協会は12月8日、宇都宮土木事務所とともに、「土木の日・クリーンアップキャンペーン並びに愛リバーとちぎ第5回河川清掃活動」を実施しました。

当日、晴天の朝、当協会会員総勢約70名、宇都宮 土木事務所の職員の方たち17名が建設業協会に集合 し、各班に分かれて担当作業箇所に移動を行い、午 前9時より清掃作業を開始しました。 一級河川田川及び宇都宮駅東西の大通りを清掃しました。田川では清掃・草刈りを行い、大通りなどでは歩道部に捨てられたペットボトルや空き缶等々を拾い集めました。

約2時間の清掃活動となり、県都に相応しい快適 な道路・河川環境の維持に参加者全員で取り組んだ 活動となりました。

(古橋)







#### REPORT 🖹

#### 安全委員会



# 支部間クロス安全パトロール 2016.12.2 **②** (合同安全パトロール[下都賀支部])に参加

建災防の年末年始労働災害防止月間が始まった12 月2日、建設業労働災害防止協会栃木県支部下都賀 分会にて宇都宮分会との合同安全パトロールが実施 されました。宇都宮支部からは、安全委員会轟委員 長、阿久津副委員長が参加しました。

パトロールを前に板橋下都賀分会長から「安全対策への認識を一から見直してほしい」、続いて栃木労基署小野寺署長から「スローガンの"無事故の歳末明るい正月"をぜひとも達成してほしい」とのご挨拶をいただいた後、総勢41人が土木、建築合わせ計7現場のパトロールを行いました。

各現場とも安全面、衛生面ともに意識の高さが感じられ、中には女性の現場代理人によるきめ細やかな管理を行っている現場の事例なども見ることができ、とても参考になる点が多いパトロールとなりました。

最後に総評において轟委員長から「宇都宮支部に持ち帰り、今後の安全衛生管理活動に生かしていきたい。来年度もよろしくお願いします」と締めくくりの挨拶がありました。下都賀支部の皆様大変お世話になりました。ありがとうございました。

(阿久津)









# 暴力団対策及び交通安全に関する講習会

2016.12.14



12月14日、栃木県建設産業会館にて『暴力団対策 及び交通安全に関する講習会』が開催されました。

当日は約70名の出席のもと、公益財団法人栃木県 暴力追放県民センターと宇都宮中央警察署警備課、 交通総務課から講師をお招きし講話をいただきまし た。講話に先立ち、増渕会長より「反社会的勢力の 排除には、相手のことをよく知り注意深く対応していくことが重要。また、本県では自動車の依存度が高いので、交通事故への対策も大きな課題となっている。有意義で実のある講習会とし、反社会的勢力の排除につなげていきたい」との挨拶をいただきました。

続いて暴追センターの橋本専務理事より講話があり、「反社会的勢力に対する対応」として、暴力団などへの対応方法を実例を交えながら分かりやすく説明いただきました。

その後は、宇都宮中央警察署の綿貫警備課係長から「右翼対策について」、橋本交通総務課企画係長からは「交通事故防止のポイントについて」それぞれお話をいただきました。

出席者は皆一様に熱心に耳を傾けていました。

(津野田)

### REPORT ■ | 青年の会 活動報告 |

#### ジャパンカップウエルカムフラワー 2016.10.6

今年で25回目を迎えたジャパンカップの記念事業として「ジャパンカップウェルカムフラワー」がスタートしたことに伴い、10月6日(内に宇都宮建設業青年の会にて協力させていただきました。

この事業は、大会の象徴となるコスモスの花でコースを彩ることで選手やファンをおもてなしするものです。快晴のお天気の中、宇都宮市城山地区の方々が中心となり栽培したコスモスのプランターを森林公園のスタート/フィニッシュ地点に並べました。

土の入った重いプランターを一列に並べていく 大変な作業でしたが、コスモスの苗木が傷まない ように丁寧に設置することができました。

(船見)



#### 宇都宮マラソン大会

#### 2016.11.20



11月20日(日)、恒例の宇都宮マラソン大会コース 設営のお手伝いを宇都宮建設業青年の会メンバー 全員にて行いました。

第30回目を迎えた宇都宮マラソン大会ですが、近年の道路事情により安全対策が強化され、総設置数がカラーコーン2800本、3mトラバー950本に増えたため、効率よく設置できるように青年の会マラソン委員会では準備を重ねてきた甲斐があり、各班とも設置から撤去まで滞りなく予定どおりに終えることができました。

当日は天気も良く、会場内では飲食ブースやスポーツ用品等の販売ブースも充実していて、家族連れや参加しない方も楽しんでいました。このような健康的なイベントを大切にしなければならないと思いました。

来年も盛大かつ安全に開催され、宇都宮建設業 青年の会としても円滑にサポートできるように臨 みたいと思います。

(船見)

# 第22回 忘年かずのこゴルフコンペ 開催



2016.12.27

競技は18ホールストロークプ レーでペリア方式にて行われまし

年納めの風物詩となっている本 大会は、今年で22回目の開催とな りました。当日は天候にも恵まれ 参加者は日頃の運動不足の解消と ともに会員間の親睦を深めて、楽 しいひとときを過ごすことができ ました。

(一社) 宇都宮建設業協会伝統の「忘年かずのこゴ ルフコンペ(第1回大会・昭和54年12月)」が去る平 成28年12月27日(火)に宇都宮カンツリークラブにおいて 28名の参加者を集めて開催されました。

結果は芳賀屋建設㈱代表取締役関明彦さんがグロス 94のスコアで見事優勝に輝きました。ハンデキャップ に上限がなかったため、64.8という驚異的なハンデが付 いた方もあり、会場を湧かせました。 (岩原)

計

報

#### 稲見邦男氏 イナミ工業株式会社 取締役名誉会長

稲見邦男様(享年91歳)におかれましては、平成28年4月21日にご逝去されました。 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



訃

報

#### 株式会社堀江ソーケン 代表取締役 堀 江 晃 氏

堀江晃様(享年71歳)におかれましては、平成28年9月27日にご逝去されました。 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。







欧米ナイズされた私も、正月だけは郷愁に駆られ少年 時代を回想する。「家族こたつで除夜の鐘」「初詣の道 中、各家の玄関先には国旗や門松」「静かで寒い正月」 等々。あのゆっくりとした時の流れが懐かしい。

ノスタルジーに浸るのも束の間、今年も更なる便利を 求めてIT化などに忙し過ぎる一年になるのだろう。そ れに比例するのが少子高齢化。常に喫緊の課題に挙げら れているのだが、当の高齢の先輩方にとっては、そんな 声はどこ吹く風だろう。

先日、回転寿司に行った。数皿食した後に私の上流側 におばあちゃんが腰掛けた。落ち着かない様子で寿司を 選んでいた彼女だったが、ついに他人のオーダーした皿 を獲ってパクリ!俺の寿司は獲るなよ~!獲るなよ~! あ~あ~やられた~

タッチパネルを見ながら注文方法を説明してあげても

トンチンカンだ。仕方ないので、食べたいものを訊いて 注文してあげたが、「これかい?これかい?」と別の皿 を獲りそうになる。「ちがうよ!おばあちゃんの皿は桃 色だから、まだ待って!」おいおい、しかも食うのが早 過ぎるべよー。

やがて、こんなやりとりを静観していた上流側のおじ ちゃんが笑いながら手伝い出した。彼女は、我々二人を しもべに黙々と食べ続けている。何とも逞しい。

考えれば、こんな彼女だが、知らない同士3人のコ ミュニケーションを築いてくれた。また、タッチパネル を無視する彼女の姿は、過剰に進み過ぎるIT化や便利 化に冷や水をかけてくれているようにも思えた。そう考 えれば高齢化も悪くない。

今年も老若男女にみなさんに良い年になってほしい。

1981年7月創刊

2017年1月20日発行

一般社団法人宇都宮建設業協会 長:増渕 薫

集:総務委員長 荒井 学 TEL: 028 - 636 - 5221 URL: http://www.ukenkyo.org/ E-mail: ukenkyo@ukenkyo.org

■印刷所:藤﨑印刷株式会社 TEL: 028 - 633 - 4530 E-mail: info@fujisaki-p.jp

